

大阪経済記者クラブ会員各位

シンポジウム 現代の三都物語—イノベーション創出力を競う世界の都市 第3回 「『2025年大阪・関西万博』に向けた大阪のイノベーション」の開催について

【問合せ】大阪商工会議所 総務広報部
広報企画担当(笹本・中村) TEL: 06-6944-6324

- 大阪商工会議所は、日本経済新聞社大阪本社とともに、全3回シリーズのシンポジウム「現代の三都物語—イノベーション創出力を競う世界の都市」の第3回「『2025年大阪・関西万博』に向けた大阪のイノベーション」を、3月18日(月)に開催する。
- 当シンポジウムでは、オープンイノベーションの先進地域であるシリコンバレーと深センの取り組みに学び、大阪・関西のイノベーション・エコシステムを考える。平成29年度から取り組んでいる本会議所の中期計画「たんと繁盛 大阪アクション」を推進する一環として実施する。
- 最終回の第3回のテーマは「『2025年大阪・関西万博』に向けた大阪のイノベーション」。立野本会議所副会頭が挨拶した後、シリコンバレーに駐在経験があり、現在はIT・スタートアップを担当する日本経済新聞社コメンテーターの村山恵一氏が基調講演を行う。続くパネルディスカッションでは、村山氏に大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学教授で、2025大阪・関西万博具体化検討会委員も務める森下竜一氏、成光精密株式会社代表取締役の高満洋徳氏、大阪大学基礎工学部に所属し、人工知能研究会/AIR代表の佐久間洋司氏を交え、「2025年大阪・関西万博」に向けた大阪のイノベーションのあり方を議論する。

【開催概要】 第3回 「2025年大阪・関西万博」に向けた大阪のイノベーション

- 日時：平成31年3月18日(月) 15:00~18:50
- 場所：日本経済新聞社大阪本社 1階カンファレンスルーム (大阪市中央区高麗橋1-4-2)
- 主催：大阪商工会議所、日本経済新聞社大阪本社
- 定員：(シンポジウム) 180人 (交流会) 50人
- 参加費：(シンポジウム) 無料 (交流会) 3,000円
- 申し込み：<http://www.osaka.cci.or.jp/event/seminar/201901/D34190318010.html>
- プログラム：
 - 開会挨拶 [15:00-15:05]
大阪商工会議所 副会頭 立野 純三
 - 基調講演 [15:05-16:05] 世界のイノベーション都市と大阪
日本経済新聞社コメンテーター 村山 恵一氏
 - パネルディスカッション [16:10-17:40]
パネリスト：日本経済新聞社コメンテーター 村山 恵一氏
大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学教授 森下 竜一氏
2025大阪・関西万博具体化検討会委員 高満 洋徳氏
成光精密株式会社代表取締役 佐久間洋司氏
人工知能研究会/AIR代表 宮澤 徹
 - モデレーター：日本経済新聞社大阪本社 編集局経済部長
 - 交流会 [17:50-18:50]

以上

添付資料：「シンポジウム 現代の三都物語—イノベーション創出力を競う世界の都市

【第3回】 「『2025年大阪・関西万博』に向けた大阪のイノベーション」 案内状

イノベーション創出力を競う世界の都市【第3回】

「2025年大阪・関西万博」に向けた大阪のイノベーション

開会挨拶

大阪商工会議所 副会頭

立野 純三

基調講演

講師

日本経済新聞社
コメンテーター

村山 恵一氏

世界のイノベーション 都市と大阪



パネルディスカッション

パネリスト

日本経済新聞社コメンテーター

村山 恵一氏

パネリスト

大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学教授
2025大阪・関西万博具体化検討会委員

森下 竜一氏

パネリスト

成光精密株式会社代表取締役

高満 洋徳氏

パネリスト

人工知能研究会/AIR代表

佐久間 洋司氏

<モデレーター> 日本経済新聞社 大阪本社編集局経済部長 宮澤 徹

概要

オープンイノベーションの先進地域であるシリコンバレーと深センの取り組みに学び、大阪・関西のイノベーション・エコシステムを考える、全3回シリーズのシンポジウム。

第3回のテーマは「大阪のイノベーション」。世界の各都市では、第4次産業革命が進展し、様々なテクノロジーやサービスモデルを実証する場が求められています。こうした中、大阪・関西では「未来社会の実験場」をコンセプトとする「2025日本国際博覧会」の開催が決定しました。そこで今回は、万博を契機に、人材や事業、技術、投資を呼び込み、様々な実証実験を通して、イノベーションを連続的に起こす大阪のあり方を議論します。

3.18

月

参加無料

15:00-18:50(14:30開場)

場所 日本経済新聞社大阪本社
1階カンファレンスルーム

定員 (シンポジウム)180名 (交流会)50名
※いずれも申込先着順

参加費 (シンポジウム)無料
(交流会)3,000円(当日申し受けます)

アクセス (大阪府中央区高麗橋1-4-2)



主催：大阪商工会議所、日本経済新聞社大阪本社
お問合せ：06-6944-6324 (大阪商工会議所 総務広報部 広報企画担当)

プログラム

15:00-15:05	開会挨拶	大阪商工会議所 副会頭	立野純三
15:05-16:05	基調講演	村山 恵一 氏	
16:10-17:40	パネル ディスカッション	<パネリスト> 村山 恵一 氏、森下 竜一 氏、 高満 洋徳 氏、佐久間 洋司 氏 <モデレーター> 宮澤 徹	
		※冒頭、森下氏、高満氏、佐久間氏から各10分程度でショートプレゼンテーション	
17:50-18:50	交流会		

登壇者紹介

講師／パネリスト

日本経済新聞社 コメンテーター 村山 恵一 氏

1992年日本経済新聞社入社。自動車、金融、ヘルスケア、情報通信・電機などの業界を取材。2004～05年に米ハーバード大学留学。2005～09年シリコンバレー支局に勤務。編集委員、論説委員を経て17年からコメンテーター。IT（情報技術）、スタートアップを担当している。著書に『STARTUP 起業家のリアル』（2017、日本経済新聞出版社）などがある。

パネリスト

大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学教授 森下 竜一 氏
2025大阪・関西万博具体化検討会委員

1991年大阪大学医学部老年病講座大学院卒業、米国スタンフォード大学循環器科研究員。2003年大阪大学教授 大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学、内閣府知的財産戦略本部本部員、2013年 内閣府 規制改革会議委員、健康医療戦略本部 戦略参与、大阪府・市統合本部 医療戦略会議参与、2016年 日本万博基本構想委員、内閣府規制改革推進会議委員。2019年から2025大阪・関西万博具体化検討会委員。著書に『アルツハイマーは脳の糖尿病だった』（2015、青春出版社）がある。

パネリスト

成光精密株式会社 代表取締役 高満 洋徳 氏

1976年生まれ岡山県出身。2001年に大阪市港区で産業用工作機械の部品加工業を始める。2007年に法人化（社名:成光精密株式会社）し、現在は主にプロトタイプ品を製作。オープンイノベーションによる新しい製品の企画・開発に向けて、多様な企業、大学・研究機関等と交流を行う拠点として「Garage Minato（ガレージミナト）」を開所したほか、海底探査技術を開発する「DeSETプロジェクト」に参画するなど、世界のものづくりの課題解決に取り組む。

パネリスト

人工知能研究会／AIR代表 佐久間 洋司 氏

2015年大阪大学基礎工学部入学、同大学院基礎工学研究科システム創成専攻知能ロボット学研究室（石黒研究室） 研究生。大阪大学、京都大学、東京大学の学生や若手研究者を中心に人工知能研究・応用を推進する「人工知能研究会 / AIR」の代表を務める。2016年にはPanasonic Silicon Valley Lab で、研究生として半年間のインターンに従事。また、人工知能学会誌の学生編集委員長を務めるほか、世界経済フォーラム（ダボス会議）が認定する Global Shapers にも選出される。

モデレーター

日本経済新聞社大阪本社 編集局経済部長 宮澤 徹

1991年 早稲田大学大学院修了、日本経済新聞社入社。東京本社産業部（現企業報道部）で食品や非鉄、自動車業界を担当。2004年 重慶支局長兼中国総局(北京)駐在を経て、2012年 日経ビジネス副編集長、2015年 企業報道部デスク、2018年4月から現職。

お申し込み

右のQRコードまたは、大阪商工会議所トップページの「セミナー・イベント」欄から3/18(月)「『2025年大阪・関西万博』に向けた大阪のイノベーション」のページ中の「お申し込みフォームへ」(<http://www.osaka.cci.or.jp/event/seminar/201901/D34190318010.html>)にアクセスし、必要事項をご入力ください。定員に達し次第、申込受付を締め切りますので、あらかじめご了承ください。

※ 反社会的勢力と認められる場合、または反社会的行為を行う方は、受講をお断りします。

